

令和6年度 災害時食支援ネットワーク検討会の報告

災害時食支援ネットワークの構築

「墨田区食育推進計画」のリーディングプロジェクト

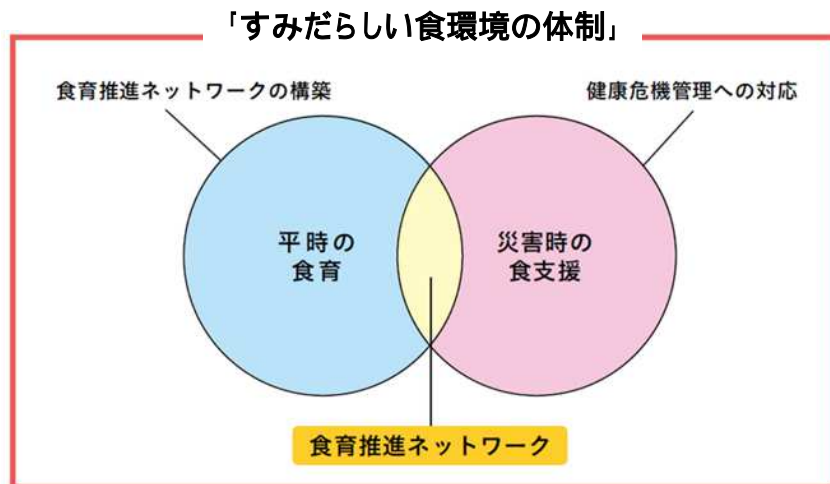
■ 災害時食支援ネットワークの構築（墨田区食育推進計画P30）

乳幼児や高齢者、アレルギー、疾病、食べる機能、宗教・思想などの理由で災害時に食への配慮が必要な人への食支援を着実に行うため、区内外とのつながりを活かした災害時食支援ネットワークを構築し、災害対応力のある食環境をつくります。

- ・災害発生時には、区や都の対応(公助)だけでは限界がある
- ・自分の身を自分の努力によって守る(自助)とともに、普段から顔を合わせている地域の人々が集まり、お互いに協力し合いながら、防災活動に取り組むこと(共助)が必要



食育推進のネットワークでつながる関係者が、平時から災害時の食支援についての課題を議論し、共有していくことで、必要なしくみ（災害時の食支援ネットワーク）を検討



令和6年度開催概要

開催日	検討事項等
第1回 令和6年8月22日(木)	▼アクションカード(要配慮者班用)のブラッシュアップ
第2回 令和6年12月16日(月)	▼アクションカード(食糧物資班用)を使用したシミュレーション

内容

■ アクションカード(要配慮者班用)のブラッシュアップ

「災害時の要配慮者食支援マニュアル」に基づき作成した「アクションカード()」のうち、昨年度末にシミュレーションを行った、アクションカード「要配慮者班 食の支援が必要な人を把握する」について、シミュレーションでの結果や意見を共有し、ブラッシュアップを行った。

■ アクションカード(食糧物資班用)を使用したシミュレーション

アクションカード「食糧物資班 要配慮者の必要物資を確保する」について、実際に支援物資の輸送拠点として使用される予定のすみだ保健子育て総合センター内の倉庫を使用して、シミュレーションを行った。

シミュレーション後は、アクションカードの内容について意見交換をした。

アクションカードとは...災害対応を行うに当たり、役割に就いた人がアクションカードを読めば、必要な行動が分かるよう、想定し得る範囲の取るべき行動をカード化したもの

要配慮者の必要物資を確保する



避難所の備蓄物資について確認する ※食糧の種類と在庫数を確認する

- ・避難所の備蓄物資について、倉庫に配備してある在庫表を活用して管理する



要配慮者のニーズを把握する ※要配慮者班の情報をもとに把握する

- ・要配慮者班がヒアリングした結果に基づき、必要となる物資を洗い出し、備蓄物資の在庫と照らし合わせ、無いものについてリスト化する



班長に報告する

- ・避難所では対応できないニーズ（物資等）について班長へ報告する
→ 班長から本部長経由で区災対本部へ速やかに要請する



納品された物資を管理・分類する

- ・納品された物資は「避難所物品受払簿」等を活用し、管理する。
管理する際は、用途や必要度に応じて行うこと



物資を配給する

- ・要配慮者に配慮して配給を行う

さらにこう
いった対
応も想定



表示がない食品（差し入れ等）の表示をルール化する

発災直後から避難所に差し入れがあるケースが想定される

- ・使った食材や調味料、いつどうやって作ったか等については聞いておく必要がある
- ・アレルギーや衛生面での問題点は事前にまとめた上、避難所内で周知することが望ましい【マニュアルP55、61を活用】